

2011年度 決算概要

- I. 2011年度 連結業績概要
- II. 部門別情報
- III. 主要商品・デバイスの状況
- IV. 2012年度 連結業績見通し
- V. 最後に

シャープ株式会社

2012年 4月 27日

【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社(以下、総称して「シャープ」という)の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5) 他社との提携、アライアンスの推進状況
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (7) 製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

2011年度業績・2012年度業績見通しのポイント

・2011年度は、主要分野における売上の大幅な減少に加え、「在庫評価減」、「事業構造改革費用」、「繰延税金資産取崩」等、体質改善又はイレギュラーな費用の計上により赤字を計上

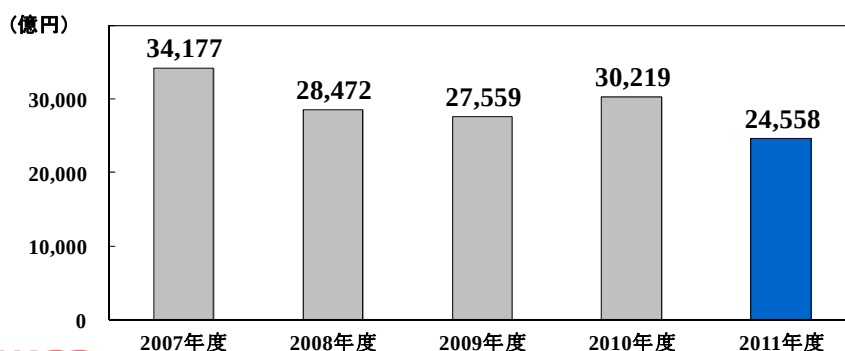
・2012年度の上期は、引き続き厳しい事業環境が続き、赤字を予想
 ・下期は、モバイル液晶を中心とした業績改善により、営業、経常、当期の各利益での黒字転換を目指す

SHARP

I . 2011年度 連結業績概要

売上高

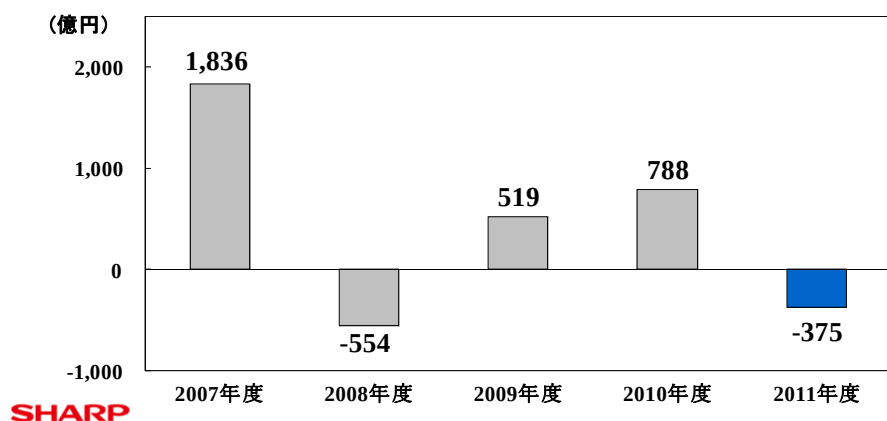
	2010年度	2011年度	
	実績	実績	前年比
売上高 (億円)	30,219	24,558	81.3%



SHARP

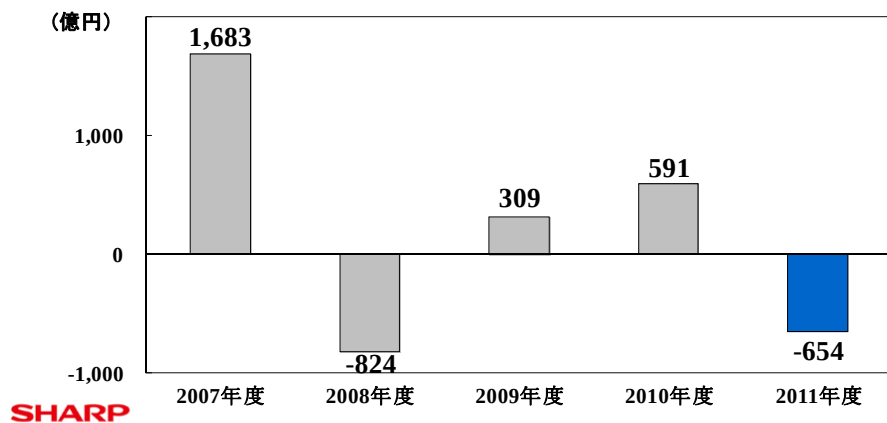
営業利益

	2010年度	2011年度	
	実績	実績	差額
営業利益 (億円)	788	-375	▲1,164
利益率	2.6%	-1.5%	



経常利益

	2010年度	2011年度	
	実績	実績	差額
経常利益 (億円)	591	-654	▲1,245
利益率	2.0%	-2.7%	



特別損益・法人税等

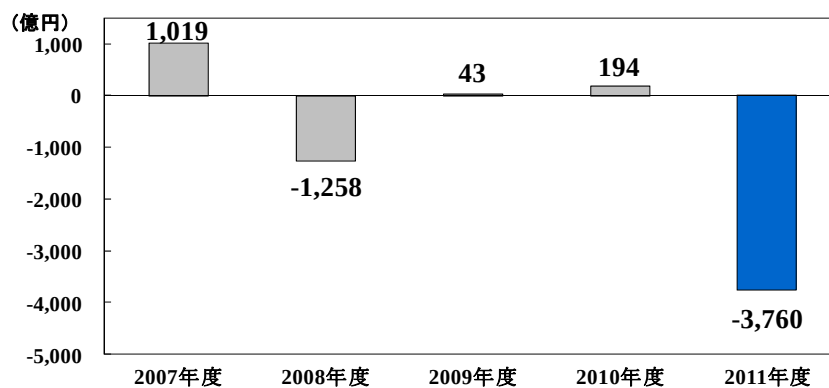
(単位:億円)

	2010年度 実績	2011年度	
		実績	差額
大型液晶操業損失	-	-258	▲258
事業構造改革費用	-126	-1,171	▲1,044
和解金	-	-188	▲188
その他	-55	-111	▲55
特別損益	-182	-1,729	▲1,547
繰延税金資産取崩	-	-1,159	▲1,159
その他	-196	-191	+5
法人税等	-196	-1,351	▲1,154

SHARP

当期純利益

	2010年度 実績	2011年度	
		実績	差額
当期純利益 (億円)	194	-3,760	▲3,954
利益率	0.6%	-15.3%	



SHARP

Ⅱ. 部門別情報

部門別売上高

セグメント(エレクトロニクス機器・電子部品)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。(単位:億円)

		2010年度	2011年度	
		実績	実績	前年比
	AV・通信機器	14,267	10,610	74.4%
	健康・環境機器	2,698	2,923	108.3%
	情報機器	2,739	2,776	101.3%
	エレクトロニクス機器	19,705	16,309	82.8%
	液晶	10,269	7,209	70.2%
	太陽電池	2,655	2,239	84.3%
	その他電子デバイス	2,615	2,381	91.1%
	電子部品	15,540	11,830	76.1%
小計		35,245	28,140	79.8%
調整額		-5,026	-3,581	-
合計		30,219	24,558	81.3%

SHARP

部門別営業利益

(単位:億円)

		2010年度	2011年度	
		実績	実績	前年比
	AV・通信機器	407	-61	-
	健康・環境機器	199	294	147.6%
	情報機器	185	277	149.5%
	エレクトロニクス機器	792	510	64.4%
	液晶	170	-422	-
	太陽電池	21	-219	-
	その他電子デバイス	115	95	82.5%
	電子部品	307	-546	-
小計		1,099	-36	-
調整額		-310	-338	-
合計		788	-375	-

SHARP

Ⅲ. 主要商品・デバイスの状況

液晶カラーテレビ

(単位:億円)

	2010年度	2011年度		2012年度	
	実績	実績	前年比	予想	前年比
売上高	8,035	5,813	72.3%	5,000	86.0%
販売台数(万台)	1,482	1,229	82.9%	1,000	81.3%



液晶テレビ“AQUOS クアトロン”Gシリーズ<LC-80GL7>

【2012年度の取り組み】

- ・60型以上の大型液晶テレビの国内外での事業拡大
- ・国内を中心とした営業体制の見直し、スリム化による収益性改善

SHARP

液晶

(単位:億円)

	2010年度	2011年度		2012年度	
	実績	実績	前年比	予想	前年比
売上高※	10,269	7,209	70.2%	9,300	129.0%

※セグメント(エレクトロニクス機器・電子部品)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

IGZO液晶の特長

1. 高精細化

従来比 2倍

同等の透過率でアモルファスシリコンとの比較

2. 低消費電力化

従来比 1/5～1/10

低いオフリーク特性を活かした休止駆動を採用した場合

3. タッチパネルの高性能化

スムーズな操作感

タッチ操作時に薄膜トランジスタの駆動を休止するので高精度なタッチ操作が可能

【2012年度の取り組み】

- ・IGZO液晶の本格量産開始
- ・スマートフォン、タブレット端末向け高精細パネルを中心に事業拡大を図る

SHARP

携帯電話

(単位:億円)

	2010年度	2011年度		2012年度	
	実績	実績	前年比	予想	前年比
売上高	4,132	3,058	74.0%	2,800	91.5%
販売台数(万台)	974	770	79.1%	770	100.0%



左から、NTTドコモ、ソフトバンクモバイル、KDDI向けスマートフォン

【2012年度の取り組み】

- ・最新OSや新サービスへの対応等、基本性能で他社をリードするスペックの実現
- ・デザインの重視
- ・「高精細大画面液晶」「使いやすさ」「長時間使用」等、当社の特長技術を活かした商品を市場投入

SHARP

太陽電池

(単位:億円)

	2010年度	2011年度		2012年度	
	実績	実績	前年比	予想	前年比
売上高 ※	2,655	2,239	84.3%	2,600	116.1%
販売量 (MW)	1,242	1,073	86.4%	1,400	130.4%

※セグメント(エレクトロニクス機器・電子部品)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。



シャープおよびエネル・グリーン・パワー社による
南イタリアの太陽光発電所
イタリア共和国カラブリア州アルトモンテ(8.2MW)

【2012年度の取り組み】

- ・国内は「全量買取制度」の開始により大きな市場成長が期待される
- ・メガソーラーや発電事業の取り組み強化(川下領域へのビジネスシフト)
- ・高効率単結晶太陽電池を中心とした技術開発の推進

SHARP

IV. 2012年度 連結業績見通し

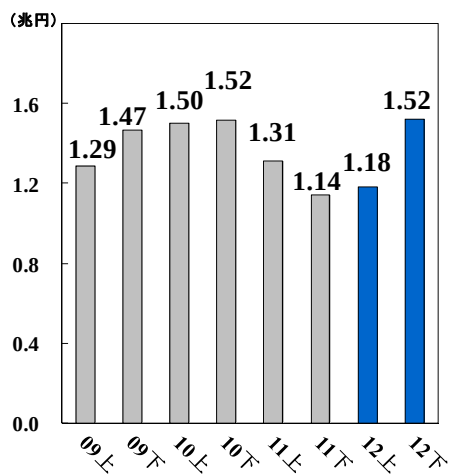
(単位:億円)

	2011年度 年間実績	2012年度					
		上期予想	前同比	下期予想	前同比	年間予想	前年比
売上高	24,558	11,800	89.8%	15,200	133.2%	27,000	109.9%
国内	11,811	4,700	71.8%	6,100	115.8%	10,800	91.4%
海外	12,746	7,100	107.5%	9,100	148.1%	16,200	127.1%
営業利益	-375	-450	-	650	-	200	-
経常利益	-654	-700	-	500	-	-200	-
当期純利益	-3,760	-700	-	400	-	-300	-

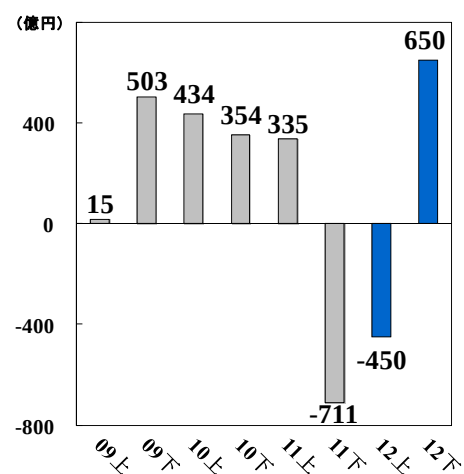
SHARP

売上高・営業利益の半期推移

売上高



営業利益



SHARP

部門別売上高

セグメント(エレクトロニクス機器・電子部品)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

(単位:億円)

		2011年度	2012年度	
		実績	予想	前年比
	AV・通信機器	10,610	9,200	86.7%
	健康・環境機器	2,923	3,200	109.5%
	情報機器	2,776	3,100	111.7%
	エレクトロニクス機器	16,309	15,500	95.0%
	液晶	7,209	9,300	129.0%
	太陽電池	2,239	2,600	116.1%
	その他電子デバイス	2,381	2,600	109.2%
	電子部品	11,830	14,500	122.6%
小計		28,140	30,000	106.6%
調整額		-3,581	-3,000	-
合計		24,558	27,000	109.9%

SHARP

部門別営業利益

(単位:億円)

		2011年度	2012年度	
		実績	予想	前年比
	AV・通信機器	-61	-50	-
	健康・環境機器	294	320	108.6%
	情報機器	277	310	111.7%
	エレクトロニクス機器	510	580	113.7%
	液晶	-422	-100	-
	太陽電池	-219	-100	-
	その他電子デバイス	95	120	126.1%
	電子部品	-546	-80	-
小計		-36	500	-
調整額		-338	-300	-
合計		-375	200	-

SHARP

設備投資・減価償却費・研究開発費・為替レート

(単位:億円)

	2010年度	2011年度		2012年度	
	実績	実績	前年比	予想	前年比
設備投資	1,725	1,188	68.9%	1,000	84.1%
減価償却費	2,540	2,389	94.0%	2,300	96.3%
研究開発費	1,739	1,547	89.0%	1,500	96.9%

為替レート(平均)

(単位:円)

米ドル	84.73	78.09	78.00
ユーロ	111.64	107.48	102.00

SHARP

主な業績改善対策

・液晶事業の構造改革

・太陽電池事業の構造改革

・経営組織の刷新と人員の重点部門へのシフト

・財務体質の改善

SHARP

主な業績改善対策

液晶事業の構造改革

IGZO液晶の事業拡大

- ・IGZO液晶は亀山第2工場で、4月より本格生産スタート
- ・低消費電力、高精細等の特長を活かしたアプリケーションの拡大を図る

「鴻海グループとの業務提携」と「凸版印刷及び大日本印刷の堺工場における液晶カラーフィルター事業の統合」

- ・これまでの「自前の垂直統合」から、グローバルで戦える「新しい戦略的垂直統合のフレームワークへの進化」を図る
- ・鴻海グループとのアライアンスによるコスト力強化と稼働率向上
(協業の業績へ与える影響については、本日の公表数値に含まず)

SHARP

主な業績改善対策

太陽電池事業の構造改革

国内市場での「全量買取制度」開始に伴う体制強化

- ・メガソーラー・発電事業の強化推進
(国内営業・システムサポート体制強化)
- ・システム機器開発と販売強化
(パワコン・HEMS・蓄電池等システム機器開発、販売強化)
- ・川下領域でのビジネス展開強化

地産地消の推進とグローバル最適生産体制の構築

- ・地産地消の推進と海外工場における生産体制強化
- ・国内マザー工場機能強化と高付加価値生産ライン集約
(高効率太陽電池等の新技術開発)

SHARP

主な業績改善対策

経営組織の刷新と人員の重点部門へのシフト

経営組織の刷新

- ・技術・商品開発担当、国内・海外営業担当として2人の副社長を配置
- ・ソーラーや国内営業等の各分野で組織統合を実施

人員の重点部門へのシフト

- ・AVやソーラー等における、国内事業環境の急速な変化に対応する為、人員の重点部門へのシフトを行う
⇒約2,000名の配置転換を実施(2011年度下期実施分含む)

SHARP

主な業績改善対策

財務体質の改善

在庫の適正化及び固定資産の圧縮等による資金の改善

目標:約1,500億円の改善

設備投資の圧縮によるキャッシュ・フロー改善

目標:約700億円の改善

鴻海グループとの資本業務提携
SDP株の譲渡
第三者割当増資

SDP株譲渡額: 660億円
第三者割当増資: 669億円

SHARP

V. 最後に

配当金

	2011年度		
	中間期	期末	年間
1株当たり配当金	5円	5円	10円

SHARP

SHARP